

第五回 e-Juggling Competition 大会要項

2021年4月20日

1. 大会概要

1-1. コンセプト

新型コロナウイルスの流行によって多くのジャグリングの大会が中止・延期になった現状を踏まえ、ルーティン発表、審査、そして鑑賞の機会を幅広く設けるための場とする。

1-2. 実施形式

出場者には事前にルーティン動画を提出してもらい、当運営で取りまとめた後 YouTube LIVE を用いてライブ配信する。

1-3. 大会日時

2021年6月19日（土） 17:00～ 配信開始予定（22:00終了予定）

1-4. 部門

以下の3つの部門を行う。 ※今回は定員を設けず、希望者全員出場可能

① ジュニア部門

2019年4月以降にジャグリングを始めた者を対象とする。

② シニア部門

ジャグリング歴による制限を設けない。

③ エキシビジョン部門

既存の枠にとらわれず、ジャグリングの映像作品を評価する。 ※詳細は後述

1-5. 出場資格

動画提出期中に、ルーティン動画提出・エントリーフィーの支払いを行える者

1-6. 当日までのスケジュール

4月24日(土) エントリー開始

5月27日(木) 19:00 エントリー締め切り

※エントリー期間締め切りまでにエントリーフィーの支払い、使用楽曲の確認、動画の提出を完了させること

1-7. 動画提出方法

- ・提出方法は、Google ドライブか Dropbox を使用すること。
- ・提出先は ejuggling2020@gmail.com とする。
- ・動画提出の際、事前にファイルの共有権限を許可、各自で再生確認を実施すること。
- ・動画は16：9もしくは4：3の横長で、拡張子は.mp4とすること。
また、動画の名前を「エントリー部門_エントリーネーム.mp4」にすること。
- ・動画の形式や名前が指定と異なる場合、失格となる場合がある
- ・映像のデータサイズは1GBを超えないように圧縮して送ること。

1-8. 備考

- ・今回大会のエントリーフィーは一律1,500円とし、審査の依頼料、配信機材補充、賞品の発送等に活用させていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
- ・エントリーフィーの支払いはBASEを使用する予定である。
- ・送られた動画は、本大会以外の目的には一切使用しない。
- ・配信閲覧者による動画の録画・撮影は禁止とする。
- ・大会要項および大会に関する情報は、本大会のホームページに掲載する。変更や追加があれば随時更新し、その旨を当大会の公式Twitter (@e_juggling) およびWEB (<https://t.co/OonKBBkBTR?amp=1>) にて告知する。

2. 審査要項 (ジュニア部門、シニア部門)

2-1. 演技規定

- ・演者一名のみによる演技を審査する。
- ・演技時間は、ジュニア部門が4分、シニア部門が5分以内とする。これを超える演技時間の動画は原則認めない。ただし、動画時間が越えていても、演技時間が規定以内であれば問題ない。
- ・演技開始は、曲の開始もしくは演者が静止から動き出した時点とする。曲が始まる前に画面外から演者が登場する場合は、演者が画面内に登場した瞬間から演技開始とする。演者の静止が曖昧な場合は、動画再生開始時間から演技開始とみなす場合がある。(※)
- ・演技終了は、曲の終了もしくは演者の静止や礼、画面外への退場などにより判断する。判断が難しい場合は、動画の再生終了時間を演技終了時間とみなす場合がある。(※)
- ・画面外からの道具の投げ入れ等の、他者の手助けは原則認めない。
- ・演者以外がジャグリングをしている様子が映っているものは原則認めない。
- ・審査員が判別不能なほど画質が悪い動画、見難い動画は原則認めない。(※)
- ・動画編集は原則認めない。ただし、曲を上から被せる、明るさを調整する等の編集は例外とする。
- ・公序良俗に反する演技は禁止とする。(※)
- ・演者および他者に危険が及ぶとみなされる演技は禁止とする。(※)
- ・その他、禁止事項については、動画撮影場所の規則に準じる。(※)
- ・後述の審査項目に従って審査を行い同点が出た場合は審査員と運営で協議する。(※)
- ・最終的な順位で、各部門1位から3位までを入賞者として表彰する。

2-2. 審査項目 (ジュニア部門、シニア部門)

審査は、運営が指定した審査員によって、以下の4つの観点のみで行う。

- ・演技構成 (ジュニア部門：40%、シニア部門：35%)
ルーティンの流れ、演出、音楽との調和、衣装やキャラクター、使う道具やセット、演技の芸術性などにより評価する。ジャグリングに関係のない技術もそれが全体的な演出を引き立てるものであれば、評価の対象となる。

- ・難易度（ジュニア部門：40%、 シニア部門：35%）
ジャグリングする物体やその数、ジャグリングのスピード、投げ方、キャッチの仕方などを元に技の難易度を評価し、それら技の技数やバリエーション、技から技への移行する流れも評価の対象とする。ミス（ドロップも含む）は難易度には影響しないが、技がミス等で成功しなければ評価は乏しいものとなる。また、ジャグリング以外の技術、例えば楽器の演奏やアクロバット等は単体では難易度には考慮しないが、それがジャグリングと組み合わせられジャグリングの難易度が上がる場合は評価の対象とする。
- ・新奇性（ジュニア部門：0%、 シニア部門：15%）
独自の技や、あまり人がやらないような珍しい技に対して評価する。この採点項目では、難易度は考慮しない。
- ・完成度（ジュニア部門：20%、 シニア部門：15%）
演技がミスなく行われているかを評価する。
演技中のミス(ドロップを含む)は、演技の完成度を損なうものとみなす。
本大会は動画での大会のため、完成度が占める得点の割合を小さくしている。

また、演技時間を超過した場合、5秒超過するごとに5点、減点を行う。

- ・第三回以前と点数配分は近い内容としているが、第五回大会では点数の重みのつけ方について新しい方式を導入する。具体的には、第三回以前では審査員がつけた点数がそのまま加算された値を最終得点としていた。第五回では、審査員には同様に点数をつけてもらうものの、直接それらを加算するのではなく、各審査員・各審査項目の中で偏差値を算出し、それらを加算する方式をとる。本措置は審査員毎の点数配分のばらつきを均一化するための措置であり、審査項目ごとの最終得点への寄与度は以前と同様それぞれの審査項目のパーセンテージに依存する。

3 審査要項（エキシビジョン部門）

- ・映像編集等を施したジャグリングの演技作品を評価する。
- ・演技時間は3分以上8分以内とする。
- ・他の部門の演技規定で末尾に（※）がついている規定はこの部門でも適用する。
- ・得点、順位は視聴者による観客投票によって決定し、1位のみを入賞とする。
- ・大きく趣旨と外れていると判断した場合、失格と見なす場合がある。
- ・既にインターネット上で公開されたことのある作品は原則認めない。

4 音源について

本大会での使用可能楽曲は以下のいずれかとする。

- 1 自作曲および著作権フリーの楽曲
- 2 JASRAC等著作権管理団体で使用が許可されている曲で、Youtubeに演技動画やその楽曲が使用されている動画をアップロードした際に**Youtube側で曲が正確に認識され、ブロックされないことがない曲。**
- 3 著作権保有者に直接交渉し許可を得た楽曲や、著作者の定めた規定を満たしている楽曲。

2の場合は、動画提出時に「Youtubeで曲が認識され、ブロックされていない状態であることがわかる画像(スクリーンショット等)」の提出を求める。この際、他人がアップロードした動画ではなく、自身のアカウントにてアップロードして確認すること。公開設定にせずとも、限定公開設定のままで確認が可能である。1及び3の場合も、同様に条件を満たしていることを示す画像等の提出を求める。

また、上記条件を満たしていない楽曲を使用したい場合、審査は楽曲ありで実施するものの、当日の配信では音源をミュートして放映することとなる。その場合、審査結果が3位以内で入賞となっていた場合でも表彰されず、繰り上げて次の順位のもの表彰する。

・ 審査員
後日発表する。

・ 出場者
後日発表する。

・ 審査結果
後日発表する。